

# 鳥取西道路の遺跡を掘る!

第37号 2012年5月24日

発掘調査で出土する土器にはさまざまな形があり、同じ用途の土器でも時期によって少しずつ形が異なります。

なぜこのような変化が起こるのでしょうか?



## 変わりゆく土器の形

土器の材料である粘土には、簡単に形を変えることができるという長所があります。つまり、作りたい形を自由自在に作り出すことができるのです。

そのような粘土を用いて作られる土器は、同じ用途でも時代ごとに形が違ったり (図1)、同じ時期でも地域によってデザインが異なります (図2)。こうした多様な変化には、使い方や製作技法の変化、当時の流行などが影響しています。また変化の速度もさまざま、長い時間をかけて一部が少しずつ変わる場合もあれば、短い時間で大きく形が変わる場合もあります。

土器には、日常生活で煮炊きや貯蔵、配膳に使われるもののほか、墓に供えられるような特別なものもあります。使われる場面は違いますが、いずれの土器も、使う人、作る人の求めに応じて形を変化させていったのです。



縄文土器 深鉢  
鳥取県埋蔵文化財センター  
『鳥取県の考古学』より転載

かめ  
弥生土器 甕

図1 煮炊きをする土器の変化



図2 同じ時期でも異なるデザイン

(財) 鳥取県教育文化財団  
調査室  
美和調査事務所

〒680-1133  
鳥取市源太 12 番地  
(旧鳥取湖陵高校美和分校内)

TEL : 0857-51-7553

FAX : 0857-51-7550

メールアドレス :  
kyobun@bz04.plala.or.jp



5月に入り、温かく過ごしやすい日が続いていますね。そんな絶好の天候の中、今月から待ちに待った発掘調査が始まりました。今は表土を取り除く作業が中心ですが、来月号で具体的な成果をお伝えできるよう、調査を進めたいと思います。お楽しみに!

鳥取県教育文化財団 調査室

検索

# 良田地区

## 良田平田遺跡、良田中道遺跡の発掘調査がはじまりました!!



5月の連休明けから表土を重機で取り除き、現在第1面の調査を開始したところです。表土の下からは圃場整備前の水田区画が現れました。

これから人力によって掘り下げを行っていきます。どんな遺構・遺物が発見されるか楽しみです。

良田中道遺跡の表土掘削風景



これからワシらの出番だでえ♪

美和調査事務所内では、昨年度の調査で出土した土器の接合・復元作業の真っただ中です。机に乗りきれないほどの土器片の中から接合するものを探し出すのは非常に根気のいる大変な作業です。

すごい量の土器!

